



2024～25 年度国際ローター・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック (米国)

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT

NEWS

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第 2118 回



2024 年 12 月 23 日

◆会務報告

1. 献本とアンケートのお願い(公益事業支援協会)
2. ロータリーカード：ポリオデーポータルサイトページの新設 (お知らせ)
3. RI 日本事務局財団室 NEWS 2025 年 1 月号
4. 年末年始休業のお知らせ (ローターの友事務所)
5. 新年交流会の開催について(鹿屋市国際交流協会)
R7 年 1 月 17 日(金)19 時～ナマステミラン
6. 週報 …… 串良・きもつき・南九州大崎 RC
7. 「カルガリーハット」販売のご案内
8. 能登半島豪雨災害支援金及びポリオ募金報告
9. 1 月例会変更のお知らせ

[南九州大崎 RC] 2 日(木)お正月三が日 休会

16 日(木)祝日週休会

23 日(木)19:00～ 会場：蛍

(会長幹事年頭所感・年男放談・YG2)

[志布志 RC] 14 日(火)第 2 週目 例会なし

[志布志みなと RC] 1 日(水)祝日につき休会

8 日(水)19:30～大黒本店(時間変更)

15 日(水)12:30～大黒本店(時間変更)

22 日(水)19:30～大黒本店(時間変更)

会長の時間 会長 鶴丸秀治さん



かやふさと
検定

皆さんは、鹿屋市のことをどれくらい知っていますか？
私たちが普段何気なく暮らしている地域のことは、知っているよ
うで意外と知らないもの、今回は、今年から実施される「かや
ふさと検定」についてご紹介いたします。
■市生涯学習課 ☎ 0994-31-1138

「かやふさと検定」の目的

「かやふさと検定」は、鹿屋市の歴史をはじめ、文化・自然・生活・風土などを総合的に学ぶことで学習意欲の向上を図るとともに、鹿屋市の魅力を再発見し愛着を持ってもらうことを目的に、今年から実施する検定です。今年本市を訪問する人々に鹿屋の魅力を紹介できるような人材を育成することで、地域活性化を図ることも目的としています。

「かやマスター」を目指して

検定では、令和 5 年に発行された「かや風土記」に掲載されている鹿屋市の文化・自然・生活・風土に関する事項のほか、本市に関する時事問題などが出題され、90 点以上で合格し、1 級、80 点以上で 2 級、70 点以上で 3 級に認定されます。

また、1 級の取得者は、検定を受けた人に対して、1 冊の検定書

「かやふさと検定」は、市ホームページ、かのや市電子図書館で閲覧可能。モノクロー版を 1,500 円で市生涯学習課、各地区学習センターで販売しています。

「かやふさと検定」で、市内の人々から生活していたと考えられているのでは？

約 2 万 6,000 年前 イ、約 2 万年前 ウ、約 1 万 5,000 年前 エ、約 1 万年前 オ、5,000 年前

鹿屋市では農業が盛んに行われていますが、農業産物で最も多い品目は何でしょうか？

さつまいも イ、茶 ウ、じゃがいも エ、ピーマン オ、キャバツ

鹿屋市の P R キャラクター「かのやカンパチロウ」の市役所での役職は何でしょうか？

ア、鹿屋市 P R 特命部長 イ、鹿屋市 P R 特命係長 ウ、鹿屋市 P R 特命課長 エ、鹿屋市 P R 特命部長 オ、鹿屋市 P R 特命大使

※答えはこのページの右下に記載

11月17日(日) 10:00～

【会場】鹿屋女子高校

例題にチャレンジ!

(1) 郷土の歴史をたどるには、古い時代の石垣が見つかることがありますが、このことから鹿屋市にはおよそ何年前から人々が生活していたと考えられているのでしょうか？

(2) 鹿屋市では農業が盛んに行われていますが、農業産物で最も多い品目は何でしょうか？

(3) 鹿屋市の P R キャラクター「かのやカンパチロウ」の市役所での役職は何でしょうか？

東川隆太郎先生による一般向け講座

「かやふさと検定」の実施に合わせて、本市の歴史等を深く知ってもらうために、かのや風土記を基本にした、一般向け講座を開催します。

開催日	開催時間
9月18日(水)	14:00～16:00
9月19日(木)	14:00～16:00
10月20日(日)	14:00～16:00
10月22日(火)	19:00～21:00

●会場 リーナシティかのや
●対象者 かのやふさと検定で一般の部を受験する人
●講師 東川 隆太郎 氏 (NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かこしま探検の会代表理事)
●受講料 無料 ※テキストとなるかのや風土記は各自準備
●申込 各講座前日まで市生涯学習課まで連絡又は専用フォームから申し込み

かやふさと検定

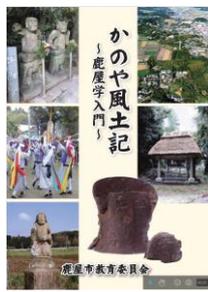
●日時 11月17日(日) 10:00～

●場所 鹿屋女子高校

●受験区分

受験区分	受験資格	検定時間	検定方法
一般の部	小学生 5 年生以上	60 分	50 問 5 級～1 級
ジュニアの部	小学生・中学生	20 分	20 問 3 級～1 級

●出題範囲 「かのや風土記」を基本とし、その他鹿屋市に関するタイムリーな時事等から出題
※かのや風土記は、市ホームページ・かのや市電子図書館で閲覧可能
●受験料 無料
●申込 10月18日(金)までに市生涯学習課、各地区学習センターに申込書を提出又は専用フォームから申し込み
※申込書は市生涯学習課、各地区学習センターに有り
※合格者の中から抽籤で鹿屋市特産品セット等をプレゼント



かや風土記
全 225 ページ
白黒版 1,500 円

次回プログラム		
1 月 20 日 (月)	18:30～	
卓話者:	全員クラブ協議会	
担当委員会:	会長	
3分間スピーチ:	—	
出席報告	会員数	(38) 43 名
	出席数	34 名
	出席率	89.47 %

メイクアップ情報			
鹿屋	01月08日	(水)	ホテルこばやし
かのや東	01月09日	(木)	かのやランドホテル
串良	01月06日	(月)	セントロランド道の駅
志布志	01月07日	(火)	大黒本店 第2週:例会なし
きもつき	01月09日	(木)	高山温泉ドーム 理事会:例会なし
南九州大崎	01月09日	(木)	セントロランド
志布志みなと	01月08日	(水)	大黒本店 19:30～

鹿屋西ロータリークラブ

会長：鶴丸 秀治
副会長：王谷 英仁
幹事：假屋 博行

例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp



市の花
ばら



市の木
クスノキ

採点結果

一般の部

区分	競取得者(受験番号)				
1級	No.11	No.15			
	No.3	No.5	No.6	No.9	No.13
2級	No.22	No.29	No.30	No.36	No.53
	No.83	No.88			
3級	No.14	No.16	No.20	No.26	No.28
	No.31	No.32	No.33	No.34	No.35
	No.38	No.39	No.47	No.55	No.60
	No.64	No.67	No.68	No.89	

先週は肝付町の国見トンネルを抜けて内之浦まで。内之浦から東串良を通って串良アリーナの道路を走りました。

山沿いは紅葉が始まっていました。

他県へ遠出も良いですが、近場で季節の変わり目を感じられたらいかがですか。

道路事情が良くて、何処にでも行けます。

今日の日曜日、お天気が良くて時間がありましたら、「ぶらつと大隅半島一人旅」いかがでしょうか？



会員卓話

副会長 王谷英仁さん

12月は「疾病予防と治療月間」です。

我々ロータリーの疾病予防といえばやはりポリオ根絶に尽きると思います。今日はこのポリオのお話をさせていただき、改めて皆さんでポリオ根絶について考えていきたいと思っています。

ポリオはポリオウイルスに感染することによって発症する病気で、嘔吐や発熱などの軽微な症状が出て自然に治ってしまう病気です。しかし極少ない確率ですが神経の麻痺を起こして運動麻痺になる事があります。これは治療法が無く小児がかかりやすいために小児麻痺と呼ばれています。麻痺になってしまうと一生治癒しないのでこれを予防すべく国際ロータリーは尽力しているのです。

さて、ウイルスに対抗するには今のところワクチンしか有りません。ワクチンは、感染症の予防において重要な役割を果たしています。ワクチン接種は、特定の病原体に対する免疫応答を誘導し、感染症の拡大を防ぐ手段として広く用いられています。

ワクチンは、病原体の一部(抗原)を含む製剤であり、これにはいくつかの種類があります。

- 生ワクチン: 弱毒化された生きた病原体を用いたワクチン。例えば、はしかやおたふく風邪のワクチンがこれに該当します。
- 不活化ワクチン: 病原体を化学的に不活化したもの。インフルエンザワクチンが代表的です。
- サブユニットワクチン: 病原体の特定の成分(例えば、タンパク質や糖)を使用したもの。B型肝炎ワクチンがこのタイプです。
- mRNA ワクチン: 遺伝子情報を利用して、体内で抗原を生成させるワクチン。COVID-19 ワクチンがその例です。

会長の時間

3分間スピーチ

会員卓話



3分間スピーチ

深水嘉寿さん

皆さんは、ハーレーダビッドソンと言うバイクをご存じですか。実は、私このバイクを一昨年の1月に購入いたしました。

ハーレーダビッドソンと言うと、大型バイクと言うイメージがありますが、私が購入したハーレーは1200CCで女性でも乗れる位の大きさです。

ハーレーの特徴は、エンジンが二つあります。

V方に分かれています。なぜV方二つに分かれているかと言いますと、創業者からそれぞれ名前を取ったからだと言われています。

一人目が、ウィリアム・S・ハーレー、二人目は幼なじみのアーサー・ダビットソン兄弟です。この二家族の名前をとってハーレーダビッドソンのバイクの名前が付けられたそうです。

このバイクでソロのツーリングを楽しんでいますが、ここで私のお気に入りのコースをご紹介します。

吾平の鶴峰小学校方面へ田代に向かう道路です。道路もくねくねしていますが直線道路も格別です。マイナスイオンも感じられますし、田代方面から、途中錦江町方向へ右折、錦江町に降りたら高須方面へ、左は海です。

左の海の方角を見れば開聞岳、右を見れば桜島が見れます。

こんな風光明媚なところはありません。

これらのワクチンは、体内に投与されると免疫系を刺激し、特定の病原体に対する免疫記憶を形成します。先ほど言いました免疫応答です。

免疫応答は主に2つのタイプに分類されます。

- 自然免疫: 生まれつき備わっている免疫機構で、感染初期に迅速に反応します。マクロファージや自然免疫細胞が関与します。
- 獲得免疫: 特定の病原体に対する免疫応答で、ワクチン接種や感染によって形成されます。B細胞とT細胞がこの応答を担い、B細胞は抗体を生成、T細胞は感染細胞を直接攻撃します。

ワクチン接種は、個人だけでなくコミュニティ全体の健康を守るために不可欠です。次のような利点があります:

- 集団免疫の形成: 高い接種率により、病気が広がる可能性が減少します。これにより、ワクチン接種ができない人（アレルギーや免疫不全の人など）を保護できます。
- 感染症の根絶: 例えば、天然痘はワクチン接種により完全に根絶されました。ポリオや麻疹などの感染症も、ワクチンによって大幅に減少しています。
- 医療経済への貢献: 感染症の発生が減少することで、医療費や社会的コストが削減され、経済に貢献します。

国際ロータリーが取り組んでいるポリオプラスについてお話しします。これは1985年に国際ロータリーが発表した計画です。このプラスとははしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核のことで、これらの予防接種や保健活動を全世界的に行う計画です。特にポリオに関しては2005年までに根絶を目指そうとしていました。

天然痘は、ワクチン接種によって根絶されました。

- ジェンナーが牛痘ウイルスを用いたワクチンを開発しました。これにより、天然痘に対する免疫が得られることが実証されました。
- 20世紀に入ると、各国で天然痘ワクチン接種キャンペーンが展開されました。特に、世界保健機関（WHO）国際的な根絶キャンペーンを開始しました。
- 各国が感染例を監視し、新たな感染が確認された場合には迅速に対処する体制が整えられました。感染者を隔離し、接触者にワ

クチンを接種する方法がとられました。

- 根絶の宣言: 1980年、WHOは天然痘の根絶を正式に宣言しました。

天然痘の根絶は、科学的進歩と国際的な協力が結実した例として、多くの公衆衛生の専門家にとって重要なモデルとなっています。人の力で人命を奪う感染症の原因となるウイルスを撲滅したことは人類にとって大きな貢献です。では、なぜポリオの根絶にこんなにも時間がかかるのでしょうか。先日遠矢財団委員長が卓話で話されたように、ポリオの発症は2021年の5件まで減少しあと一歩となりましたが残念ながら2024年には71件と増加してしまいました。なぜポリオは天然痘のように一掃できないのでしょうか。皆さん考えてみてください。

ポリオが完全に根絶できない理由はいくつかあります。

1. ウイルスの特性

ポリオウイルスは非常に感染力が強く、主に接触や糞口感染を通じて広がります。感染した人が排泄するウイルスが水や食物を介して広がり、衛生状態が不十分な地域では特に拡散しやすいです。

2. ワクチンの種類

ポリオワクチンには主に2種類あり、次のような特性があります:

- 生ワクチン (OPV): 口から投与される生ワクチンで、簡単に投与できる反面まれにワクチン由来のウイルスが変異して病気を引き起こすことがあります。
- 不活化ワクチン (IPV): 注射によるワクチンで、ウイルスを不活化しているため安全ですが、感染の防止には効果が薄い場合があります。

3. 接種率の不均衡

ワクチン接種が十分に行われていない地域が存在します。特に低所得国や紛争地域では集団免疫が形成されないため、ウイルスが残存し続けます。

4. 公衆衛生の課題

衛生状態が悪い地域では、感染が広がりやすく、特に水の管理や衛生教育が不足しているため、ポリオウイルスが根絶されにくい状況があります。

5. 国際的な移動

人々の移動が活発化する中で、ポリオウイルスが他の国から持ち込まれるリスクもあります。これにより、一度根絶された地域でも再び感染が広がる可能性があります。

これらの要因が重なり合って、ポリオウイルスの完全な根絶が難しい状況が続いています。

しかし、国際的なワクチン接種プログラムや公衆衛生の改善が進められており、根絶に向けた努力は続いています。

それでは我々はポリオ根絶に向けて何ができるか考えてみましょう。現在、ロータリー財団に一人あたり年間 30 米ドルの寄付をしていることは皆さんご存じですね。それ以外に何かできることがあるでしょうか。考えてみましょう。

我々がさらにできる事としてポリオソサエティというシステムがあります。これは私たちがポリオ撲滅のために年間寄付している 30 米ドルに 70 米ドルを上乗せして年間 100 米ドルの寄付を行うシステムです。この寄付はポリオの収束まで継続されます。現在のレートで 16000 円ほどになります。

世界ポリオデーは毎年 10 月 24 日です。不活化ポリオワクチンを開発したジョナス・ソーク博士の誕生日を記念して設定されました。この時期に合わせた住民への啓蒙イベントも有効だと思います。

写真はロータリーの友 12 月号に掲載されていました大崎 RC のペットボトルキャップ回収と合わせたポリオワクチン提供のキャンペーンの様子です。また、我々の記憶に新しいのは 2022 年の東京三鷹ロータリークラブの宮崎陽市郎さんの自転車日本縦断によるポリオ撲滅キャンペーンなどもあります。このようなロータリアン以外の人々に対する啓蒙啓発も有意義だと思います。



◆スマイル報告

〈 4 件 〉

○一村親睦委員長はじめ委員会の皆様には楽しい年末家族会、御苦勞様でした。早いもので辰年から巳年へ。巳は不老不死のシンボルとされています。

皆様良いお年を!! 風呂井

○王谷さん、財団についての卓話ありがとうございます。..... 遠矢

○今年最後の例会となりました。来年も皆様にとって良い年になりますように。..... 深水

○先週の年末家族会には多くの皆様に参加いただきありがとうございました。..... 一村

○本日のニコニコ BOX スマイルは 2,311 円です。

○本日の米山 BOX スマイルは 1,855 円です。

本日計 23,000 円 累計(一般) 173,000 円
(財団) 62,902 円 (米山) 128,728 円

***** ありがとうございます *****

「ロータリーの友」1月号の見どころ



- 「表紙」「桜島」NPO法人樹 (たつき) /高橋椋さん (鹿児島県日置市)
- 特集 職業奉仕月間 「いま、あらためて 四つのテスト」
- 「私のロータリーのマジック」
- 地区大会略報Ⅱ (2730 地区掲載)
- 「ELEVATE ROTARACT」 姫路ローターアクトクラブ
- 「NEW GENERATION」 元ローターアクター 坂上卓史さん
ローテックス 森田陽湖さん
- 「学びとひらめき」 神孝輔さん (出水 RC)
- 「SPEECH」 「伝統技法と職業奉仕の心」 (株) 鶴工舎 総棟梁・小川三夫氏の講演趣旨
- 「この人訪ねて」 工藤左千夫さん (小樽南ロータリークラブ)
- 「につぼんふうど」 北陸能登特別編 文・久保田英男さん (鎌倉ロータリークラブ) などなど



▲ガバナー月信は
こちらから

財団室 NEWS 2025 年 1 月号より

第 53 回ロータリー研究会

ステファニー A. アーチック RI 会長、マーク・ダニエル・マローニー TRF 管理委員長 & ゲイゴ夫妻、ラリー A. ランスフォード TRF 副管理委員長、RI 会長エイドで RI 理事ノミニのトーマス A. ガンプ & キャサリンゴ夫妻をお迎えし、第 53 回ロータリー研究会および付随行事が、水野功 RI 理事の招集により 12 月 12 日 (木) ~ 15 日 (日) に、神奈川県横浜市で開催されました。My ROTARY RI レート寄付送金明細書 寄付・認証の手引き 14 日 (土) のロータリー研究会 1 日目では、水野 RI 理事から DEI や 3 年間の目標 (3-Year Rolling Goals) についてなどロータリーの最新動向の報告がありました。アーチック RI 会長の基調講演では、本年度のテーマである「ロータリーのマジック」についてのストーリーや、奉仕活動におけるインパクトの重要性などが語られました。マローニー TRF 管理委員長の基調講演では「魔法の杖」を使って「マークのマジカルマーカー (指標)」にも触れられ、具体的なステップを示すとともに参加者の印象に残る講演となりました。各種報告の他にも「未来への投資」「Action Plan の推進」などについてのセッションも行われ、実際の活動の様子を知ることができた充実した内容となりました。また、二日目には名誉世界保健機関 (WHO) 西太平洋地域事務局長 尾身茂様へ Rotary Polio Eradication Ambassador の委嘱状が授与されました。世界ポリオデーフォトコンテストの表彰や、当日のアンケートから寄せられた質問へアーチック RI 会長やマローニー TRF 管理委員長らが回答するオープンフォーラムも行われました。

週報担当：志村